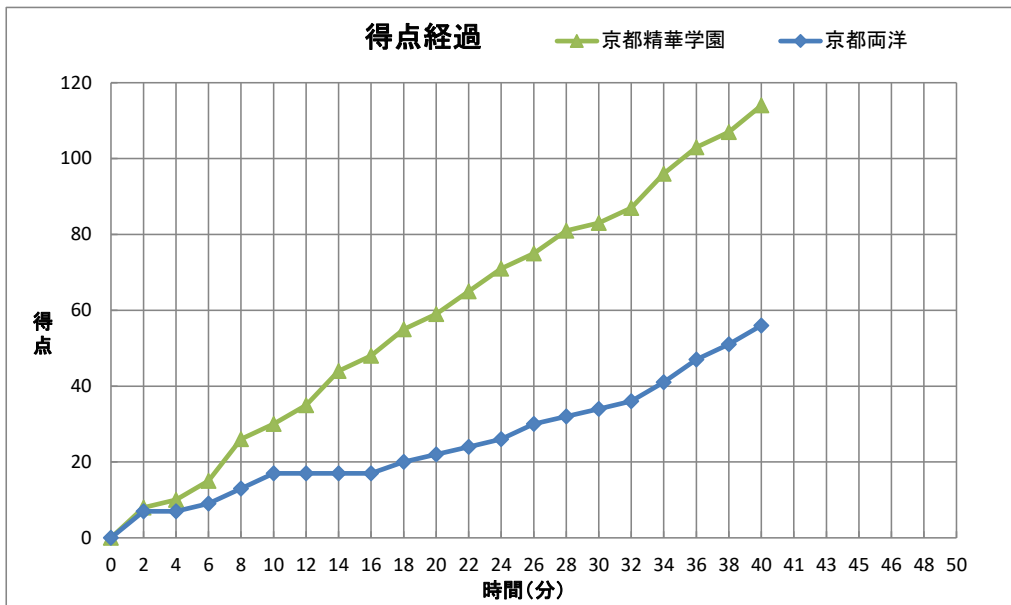




第43回京都府高等学校選手権大会 兼
第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選

個人トータル表

女子		11月5日				13:20 開始															
決勝リーグ		島津アリーナ京都				M															
◎ 京都精華学園 114		<table border="1"> <tr><td>30</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>29</td><td>2nd</td><td>5</td></tr> <tr><td>24</td><td>3rd</td><td>12</td></tr> <tr><td>31</td><td>4th</td><td>22</td></tr> </table>				30	1st	17	29	2nd	5	24	3rd	12	31	4th	22	56		京都両洋	
30	1st	17																			
29	2nd	5																			
24	3rd	12																			
31	4th	22																			
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則								
* 4	堀内 桜花	6	0	1	4	2	1	ユヌス カオサラ ボルワチフェ	0	0	0	0	1								
* 5	八木 悠香	9	0	3	3	2	3	森口 笑来美	2	0	1	0	1								
6	川地 汐夏	12	2	2	2	1	18	中野 有佳子	0	0	0	0	0								
7	山西 凜愛	0	0	0	0	0	* 8	谷口心綾	20	0	10	0	4								
8	大久保 舞奈美	2	0	1	0	0	* 9	岡田 彩葉	2	0	1	0	4								
9	坂口 美果	2	0	1	0	0	10	日渡 理緒	0	0	0	0	0								
10	高井 星	0	0	0	0	0	12	中村 璃菜	0	0	0	0	0								
11	石渡 セリーナ	0	0	0	0	0	* 14	ビクトリア ウピ オコイ	2	0	1	0	5								
12	松居 かなで	0	0	0	0	1	30	古川 光鈴	0	0	0	0	0								
13	金谷 悠加	0	0	0	0	0	* 31	城地 あさひ	4	0	1	2	1								
14	林 咲良	11	1	3	2	1	49	西川 優月	2	0	1	0	1								
* 15	ディマロ ジェシカ	34	0	17	0	1	58	三田 心春	-	-	-	-	-								
* 16	橋本 芽依	12	2	2	2	3	* 68	木村 香穂	22	2	7	2	3								
* 17	桃井 優	5	0	2	1	1	69	廣浦 杏	2	0	0	2	4								
18	ユサフ ボランレ	21	0	7	7	1	77	林 英美	0	0	0	0	4								
コーチ	山本 綱義					1	コーチ	吉田 聡					0								
Aコーチ	米長 真夫						Aコーチ	甲良 泰明													
合計		114	5	39	21	14	合計		56	2	22	6	28								
主審: 川路 宗勲																					
副審: 小柿 茉智子																					
副審: 徳本 将思																					



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	37:39	39:53	:	:	:	:
TeamB	6:53	13:37	24:13	34:17	:	:	:	:

〔戦評〕
 ウインターカップ京都府予選 決勝リーグ最終戦 京都精華学園と京都両洋の対戦
 第1Q 両チームオールコートマンツーマンでスタート。京都精華学園は#15のゴール下シュートで先制、京都両洋は#68のドライブですぐさま返す。京都精華学園#16の3P、京都両洋#14のリバウンドからの加点など一進一退の攻防が続く。残り3分京都精華学園#14のドライブからの加点で、京都両洋はタイムアウトを請求。京都両洋は#49のリバウンドからゴール下シュートを決めるも、京都精華学園30-17京都両洋で第1Q終了。
 第2Q 開始早々京都精華学園は、#15のゴール下シュートや#5ミドルシュートで加点していく。残り6分京都両洋は得点がなく、たまたまタイムアウトを請求。立て直しを図りたい京都両洋だが、タイムアウト後すぐに京都精華学園#16がドライブで加点。フリースローをきっちり決めリードを広げる。京都精華学園の厳しいディフェンスを前に京都両洋は7分間無得点に終わり、京都両洋は#68の3Pで何とか得点する。京都精華学園59-22京都両洋で第2Q終了。
 第3Q 京都精華学園は点差が開いても攻撃の手を緩めない。#15の1on1、#4のアシストから#15の加点でリードを広げる。対する京都両洋は#8のゴール下シュート、#91on1で加点していく。残り5分京都精華学園#14の速攻が決まったところで、京都両洋はタイムアウトを請求。京都両洋は#8の1on1で加点するも京都精華学園83-34京都両洋で第3Q終了。
 第4Q 京都精華学園は#15、#18がゴール下、#16の3Pで加点していく。京都両洋は#68の1on1で攻撃のリズムを作りたいが、高さのある京都精華学園のディフェンスに対してシュートがなかなか決まらない。残り5分京都両洋はタイムアウトを請求。京都両洋は#8の1on1で加点していく。最後まで京都両洋はあきらめずに戦ったが、京都精華学園114-56京都両洋で試合終了。
 お互いのプライドをかけた激しい攻防や、スピード感のあるトランジションゲームとなった最終戦は、京都精華学園が8年連続13回目の優勝を飾った。3年連続3回目の出場となる京都両洋とともに全国での活躍を期待したい。

戦評: 京都西山高校 中澤 久馬 記録: 洛北高校 本田 英嗣